令和７年度　江戸川区立清新第一中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・自ら学び進んで働く生徒 ・心身ともに健康な生徒 ・自他を尊重して協調性を発揮する生徒 ・社会に対する責任を自覚して実践する生徒		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	学校像：「皆が幸せを感じながら、共に成長できる学校」 生徒像：・主体的に学び、自分目標に向かって努力する生徒・思いやりの心と健康な身体をもった生徒 ・互いに協力し合い、豊かな人間関係が築ける生徒・当たり前のことが当たり前にできる生徒 教師像：・生徒、保護者、地域社会、同僚と喜びや幸せを共有することができる教師 ・使命感を持ち、心霊される言動、行動と組織的な対応ができる教師 ・主体的に研修と日々の実践を行い、学び続けることができる教員
前年度までの本校の現状	成果	＜成果＞　①全教員がＩＣＴ活用による授業実践を行い、改善を進められた。 ②インクルーシブ教育として行事や授業等で交流を行えた。	課題	＜課題＞　①ICT機器を活用した授業の工夫 ②不登校生徒に対する対策 ③働き方改革の推進

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	＜学力の向上＞ ・学力の定着・向上を図る指導の展開	・放課後学習教室の参加率を上げ、学力定着を図る ・ＴＧＧの活用やALTと連携した英語力の向上	・放課後学習教室の参加率９０％ ・保護者・生徒のアンケートの肯定的な評価が８５％											
	＜教員研修の充実＞ ・教員の授業実践に向けた研修 ・ＩＣＴ機器の活用の促進	・全教員が他教員の授業を年2回以上観察 ・校内研修を充実させ、ＩＣＴ機器を使用し、効率のよい授業	・生徒アンケートの肯定的な評価が８０％											
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・学校図書館の活用の推進	・学校図書室を活用し、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法を指導 ・年３回は学校図書館を活用し、調べ学習等を行う	・生徒アンケートの肯定的な評価が９０％											
体力向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞ ・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・毎時の保健体育の授業での補強運動を単元により工夫し行う	生徒アンケートの肯定的な評価が80％											
		・運動会、ロードレース大会への取組を通して持久力や意欲の向上を図る	生徒アンケートの肯定的な評価が80％											
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・週１回の特別支援委員会と月１回の校内委員会での情報共有と手立ての確認 ・エンカレッジルーム活用の推進と充実	・保護者アンケートの肯定的な評価が70％											
	＜インクルーシブ教育の推進＞ ・特別支援教育の理解啓発と授業における工夫 ・交流及び共同学習の実施・充実	・交流する場面（給食や行事など）の充実 ・福祉体験の実施	・交流給食　年間10回 ・交流授業、行事年間20回											
不登校・いじめ対応の充実	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化	・生活指導部会や校内委員会での情報共有と手立ての確認 ・居場所づくりの拡充と推進、公的機関との連携 ・校内別室指導支援員の活用	・不登校生徒を１０％減らす											
	＜健全育成に向けた取組の強化＞ ・いじめの未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・スクールカウンセラー等や生活指導連絡協議会の活用	・「ＳＮＳ家庭ルール」等の徹底 ・ＳＣやＳＳＷなどによる面談の充実	・生徒アンケート等でいじめを認知した場合、１ケ月以内の解決を目指す											
地域社会に開かれた学校（園）の	＜自校の取組の積極的な発信＞ ・学校ホームページの充実等 ・学校公開の実施・充実	・毎日1回以上内容の更新 ・行事等の発信	・保護者アンケートの肯定的な評価が８０％											

の実現	社会にれた	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・生徒・保護者アンケート、教職員アンケート、学校関係者評価の分析、工夫・改善	・学校関係者評価のAが８０％											
教育の展開	特色ある	＜やりとり帳の活用＞ ・生徒の生活を見守り、相談を受ける体制の充実	・毎日、担任がやりとり帳を活用し生徒とコミュニケーションを図る	・全クラスで実施（１００％）											
		＜学校における働き方改革＞ ・ライフ・ワーク・バランスの推進	・月1回の定時退勤日の徹底 ・定時退勤weekの推進 ・部活動の方針やガイドラインに沿った活動時間・休養日の設定	・１日の在校時間１１時間を目指す ・月の定時外在校時間60時間以下を目指す											